

品川区議会第2回定例会と2つの選挙を終えて

日本共産党品川区議団 幹事長 飯沼雅子 2016年8月22日



安保法制廃止! 共産党区議団と白石都議(大井町駅)

日本共産党品川区議団は、昨年4月に区議会第3党に躍進した7名の力を発揮させ、住民運動と連携した議会論戦や、「野党プラス市民」の力で参院選、都知事選に挑みました。

品川区議会第2回定例会と2つの選挙を終え、決意あらたに「住民こそ主人公」の品川区政の実現に奮闘します。

品川からアベ政治のストップ&チェンジ

濱野区政は、総合実施計画で「国が掲げる一億総活躍社会にむけての施策を捉え、効果的な活用と連携が必要」などと、社会保障と住環境をこわす「アベ政治」を区の計画にすえ、区民生活を脅かしています。

さらに安保法制の施行後、「後方支援に（品川区が）協力するのは当然」と答弁。区民を海外の戦争に巻き込む憲法違反の法律に、区が進んで協力とは、地方自治体として、あるまじき姿勢です。

その他、「自衛隊幕僚の部長職採用」「介護サービス削減」「国保料滞納者への財産差し押さえ」「認可保育園の売却を含める民営化推進」「特定整備路線や再開発事業の推進」「義務教育学校設置や学事制度審議会の設置準備」「羽田国際線増便による低空飛行に反対表明なし」など、区政のあらゆる分野で「アベ政治」を全国に先駆けて進めています。

こうした中、「待機児ゼロ実現の2年先送り」「子どもの自殺が4年間で8人」「区営住宅の募集11戸に応募566件と倍率51倍」「特養ホームの入所待ちが527人」など政治の「ゆがみ」が区民の生活を奪っています。

共産党は、過去最高845億円の区積立基金や2万㎡を超える売却予定の国有地、2か所の学校跡地などの計画的な活用で、認可保育園や特養ホーム、区営住宅、防災広場など、区民要望の実現は十分に可能と抜本的な対案を示し、濱野区政と対決。品川からアベ政治ストップと、いのちと暮らしを支える区政へのチェンジを求めました。

切実な住民要望を実現

こうした濱野区政に対し、繰り返し切実な住民の声や要望を届け、住民との共同を力に、一歩ずつ区政を動かしました。

認可保育園では、さらなる増設とあわせ、認可保育園・区立幼稚園の保育料多子軽減における年齢制限を撤廃させ、保護者負担の軽減を進めました。

また、すまいるスクールでも、就学援助世帯や住民税非課税世帯など所得の少ない方への利用料減免制度を実現し、保護者負担の軽減を進めました。

知的障害者用グループホームでは、西大井4丁目の国有地240㎡を、区に1億800万円で購入させ、切実な新規増設の実現となりました。

高齢者施設では、今年は平塚特養ホームの開設に続き、みやこ荘跡地で特養ホームが建設中。老人保健施設は、御殿山小学校の隣に区内2カ所目となる老人保健施設が建設中。共産党は、さらなる増設へ、住民の皆さんと力をあわせ請願署名を区議会に提出。紹介議員に生活者ネットも賛同するなど、共同も広げる事ができました。

議会改革では、品川区議会ホームページの本会議議事録公開を、今まで2ヶ月程度かかっていたものを、速記録版として2週間程度へと、大幅に期間の短縮を実現しました。

他会派との共同、野党共闘の実現

昨年夏、安保法制慎重審議を求める意見書が品川区議会の自・公を除く、全ての議員の賛成で、可決させたことを契機に、様々な分野での共同が始まっています。

羽田空港の国際線増便のために、住民を犠牲にする都心・品川を低空飛行する新ルート計画では、「反対する区民の会」が結成され、住民集会やデモ行進、国会要請を繰り返し開催。区議会から共産党やネットの区議が参加するなど連携が開始。その後に開かれた、学習報告集会には民進、ネット、維新・無所属、共産の4会派が出席し、100名を超える住民が参加しました。区議会では、それぞれ「実施反対」を主張し、2回目の意見書提出へ、議論が進むなど、共同がさらに進んでいます。

7日間で1人214万円総額1500万円もの高額な税金を支出する品川区幹部職員と品川区議会議員によるリオ五輪視察では、ネット、維新・無所属、共産による、初めての3会派合同による「中止の申し入れ」を、区長と区議会に実施。議員派遣を決める本会議には、多くの区民が議会傍聴に駆けつけ、品川区民オンブズマンによる公開質問状や議会棟前での抗議活動など「税金のムダ遣いは許さない」と住民運動も広がりました。

参院議員選挙では「市民プラス野党」の力が発揮され、参院比例では、品川で過去最高に次ぐ2万5千票を超える得票を獲得。都知事選挙では5野党プラス市民の共闘が実現し、鳥越氏は「都民の声を聞く」姿勢を貫き、大型開発優先から都民の福祉・暮らし優先の都政への転換や安倍政権の暴走ストップなどを掲げました。各地で合同街宣が行われ、品川でも大井町駅前で民進、ネット、共産党の3会派10名の品川区議会議員による合同街宣が実現しました。これは、今後の品川区政に希望を示すものです。

さらに幅広い個人、団体からなる実行委員会が開催する「原発いらない品川パレード」「戦争させない品川パレード」にも超党派で参加。現在も、力強く続いています。

今後とも、「市民プラス野党」の力を総発揮させ、安倍改憲を許さない共同の取り組みや、くらし・福祉こそ最優先の品川区政の実現に力を注ぎます。ご意見、ご要望お寄せ下さい。

日本共産党品川区議会報告/2016年8月号/発行責任者：区議団幹事長飯沼雅子/電話 5742-6818/FAX 3773-3088